



令和2年度  
明石市立二見中学校  
青学年(75回生)  
学年通信:第1学年

第13号

令和2年6月23日発行

## 学級目標決定!

先週の、学年集会でクラス目標の発表がありました。発表したクラスの代表者は、みんなの意見をしっかりとまとめ発表できていました。新型コロナウイルスによる臨時休校があり、年度のスタートが遅くなりましたが1年生が中学生らしくなった姿を見てびっくりしました。

学年の目標は「自分で考え 判断 行動」です。義務教育が終わるまでに、高校や社会で頑張っていける力をつけてほしいと思い先生方で話し合い決めました。各クラスでも、新しい仲間意見を出し合いながら一生懸命に考えていたと担任の先生方から聞いています。

みんな生活の中で、ルールはとても大切です。ルールがなければ、みんなが安心して生活ができません。目標も同じだと思います。失敗した時こそ、自分たちの目標に立ち返り何がダメだったかを考えてほしいです。みんな協力して良い自治を築いてほしいです。

**1組** 困ったら話し合っ 解決だ みんな笑って 元気なクラス

**2組** 協力・挑戦・全力  
～いつも前向きなクラス～

**3組** 一致団結  
～失敗をおそれずNext Stage～

**4組** みんなちがってみんないい38  
～1人1人がメリハリを持って協力し合い楽しめるクラス～

**5組** ポジティブで仲のよい かしこいクラス!!

**6組** 笑顔が絶えず、はじめがあり、仲間想いのクラスになる

1組副担任:足立先生から

コロナのいる日常～コロナ時代を生きる～

1組 副担任:足立 久美子  
教 科:理 科  
部 活:コンピュータ部

朝起きて制服を着る、学校に行く、授業を受ける、友達と会って話をする、好きな部活動に入る、こんな当たり前の中学生活がやっとできるようになりました。長～いステイホームが2か月も続き、自主的に勉強したり、自分でゲームの時間を決めたりするのは大変でした。実は400年も前にもコロナのような感染症のペストが大流行した時がありました。「万有引力の法則」で有名なニュートンは大学が2年間も休校になったとき世紀の大発見をしたといわれています。「ロミオとジュリエット」で有名なシェイクスピアもペストで劇場が封鎖されている間にたくさんの劇作品を書いたそうです。この2人にとって休校期間は、感覚を研ぎ澄ませてくれる貴重な時間でした。2年間という非日常の時間と空間は2人にとっては創造的休暇だったのです。

さて中学校生活は慣れましたか。マスク着用、まめな手洗いなど新しい生活様式が日常になりつつあります。見えない敵と闘っているようですが、ウィルスにとって人間は大切な宿主。病原体は人間と共生を目指しながら進化していくことと思います。

コロナのいる日常～コロナ時代を生き抜くためにできること・・・

- ①授業を大切にす～長い休校期間が終わった今だからこそ授業はむだにできません。学力は生きる力となります。
- ②ポジティブな気分で行き先へ生きる～免疫力が高まると病原体は近寄りません。
- ③生活は変えられる～自分の健康や安全を守るための行動を続けていくことで習慣化されます。今こそいい習慣を身につけたいです。

## 先生のステイホーム

ニュートンのような大発見はありませんでしたが、普段できなかったことができました。

- ①ランニング～5月の走行距離は合計100キロでした。1日5キロを20日走りました。姫路から武庫川まで100キロウォーク(制限時間30時間)イベントに参加予定でしたが、コロナでキャンセル。
- ②断捨離～要らないものは減らしてミニマムライフ。空間を広げることで気持ちも余裕ができます。
- ③オンラインミーティング～外出自粛によりオンラインで友人とお茶会、東京やニューヨークからオンライン帰省、オンライン講習会など実際に会うより感動でした。